



民の生活に直結する「命の道の整備」等について決議した。その他以下の会議に参加した。

5月21日「道全協第35回通常総会」「命と暮らしを守る道づくり全国大会」

5月28日「全国治水砂防協会通常総会」

5月30日「全国簡易水道大会・通常総会」。

要望活動は5月15日に国道197号・439号、県道窪川船戸線の岩土第2工区、県道仁淀東津野線バイパス工事の早期完成等を陳情した。

5月23日には須崎土木事務所長以下21名の参加で移動土木を行い、国道改良・砂防事業・急傾斜事業・修繕工事等の要望をした。

学力向上対策

今年度は3名の学習支援員により学校への派遣へ多くの時間を取る。町独自として漢字検定や県版の単元テストを活用した算数・数学検定の実施を進めている。確かな学力の育成を図る事を主な目的として対策室を中心に強力に進めていく。

図書館の充実

4月27日にオープンした「虎太郎館」は、当日237人の入館、108人が利用者登録カードを作られた。現在1日平均47人の入館、73冊の貸し出しをしている。

5月19日には児童図書館研究会高知支部が「かわうそ館・虎太郎館」を視察、館内の展示等のアドバイスを受けた。

郷土史や農林業の書籍を充実し、28年度までに両館で5万冊の蔵書を目指す。

今後は年間を通じた各種工作教室や定期的な読み聞かせ教室、読み聞かせボランティア勉強会など図書館利用の企画をしたい。

新刊図書を紹介、地域サロンでの本の紹介など子どもたちや地域の人達の「学習の場、本との出会いの場」「津野町の情報庫」として、町民の読書活動推進を図る。

平成25年度 各会計別の決算状況（端数切捨て）

会計名	歳入総額	歳出総額	差引総額
一般会計	64億6,942万円	62億3,752万円	2億3,190万円
国民健康保険事業	9億 760万円	8億9,811万円	949万円
直営診療事業	1億4,961万円	1億4,488万円	473万円
介護保険事業	7億2,223万円	7億 826万円	1,397万円
簡易水道事業	3億6,013万円	3億6,013万円	0万円
生活環境施設整備	7,449万円	7,445万円	4万円
後期高齢者医療	8,617万円	8,559万円	58万円

一般会計の差引総額には、26年度への繰越額6,591万円を含む。介護保険事業の差引総額には、26年度への繰越額109万円を含む。